

## 高校芸術科書道Ⅱ・書道Ⅰの授業シラバス

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
芸術	書道Ⅱ	高2	選択	30	「書Ⅱ」(教育図書)	別途ロイロで配信
	書道Ⅰ	高2	選択必修	30	「書Ⅰ」「書Ⅱ」(教育図書)	

\* 全クラス共通で実施

### 1 学習目標

年間学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。
--------	--

### 2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	①書の歴史(復習) ②文字 (漢字・仮名)の変遷(復習) ③篆書の学習 (甲骨文・金文・小篆・大篆)	①隷書の学習 (木簡・古隷・八分隷) ②草書の学習 (王羲之「十七帖」・孫過庭「書譜」) ③書論	①漢字仮名交じりの書の学習 ②仮名の学習 ③作品制作
備考	Sコースは、書道Ⅰの内容が終わり次第、書道Ⅱの内容に移る。		

\* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

### 3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	書道の基礎的な知識・技法・技術の習得。	評価基準	知識・技能	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階	総合評価・評定の算出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点別評価を基に、各学期10段階で総合評価</li> <li>・各学期評価に基づいて年度末5段階評定</li> <li>・観点別配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度＝3：5：2</li> </ul>
	思考・判断・表現	課題に対する理解力・構想力・観察力・表現力、状況に応じた取り組み。		思考・判断・表現	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		
	主体的学習態度	課題への取り組みの状況など。		主体的学習態度	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		

\* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。